

原著論文,雑誌投稿等

大下靖夫: 退院前訪問指導後の追跡調査. 岐阜作業療法. 2007.10.30-31

上野正典: 老健施設におけるリハビリテーションの現状と課題. 高山赤十字病院紀要. 第38号. 7-12. 2014

桐山伸也: THA電子クリニカルパスにリハビリプランを導入して. 日本クリニカルパス学会誌. 第17巻. 第2号. 2015

中野美穂子: 乳児期の摂食嚥下障害への早期支援. 日赤医学. 2017.9. 第68巻. 第2号. 309-311

村田翔太郎: 文字を「見なければ読める」文字形態の視覚刺激が運動覚読みに干渉したと考えられる純粹失読の一例. 高次脳機能研究. 2017.37: 212-219

上野正典: 当院人工呼吸器装着患者における早期理学療法介入の効果と課題. 岐阜県理学療法士会学術誌. 第22号. 94-95. 2017

村田翔太郎: 拡大鏡を使用することで仮名非語音読課題の成績が向上した音韻失読の2例. 音韻失読の読み誤りを減らす試み. 高次脳機能研究. 2019.39: 28-35

佐藤陽祐: 人工関節置換術における深部動脈血栓症発生病因因子の検討と退院時への影響についての検討. 日赤リハビリテーション協会誌. 2020.34号

大下靖夫: 人工関節置換術全置換術患者へのリハビリテーションプログラムの検証. 日赤リハビリテーション協会誌. 2020.34号

蒲知香子: 加齢・長期臥床・頸椎骨折により咽頭腔が変形し嚥下障害が起きた症例. 日赤リハビリテーション協会誌. 2020.34号

学会発表,シンポジスト

第22回日本ペインリハビリテーション学会学術大会. 神戸. 2017. 口述. 教育的アプローチを組み合わせた段階的運動療法により劇的な症状改善が得られた難治性CRPS症例

第9回日本線維筋痛症学会学術集会. 大阪. 2017. 口述. 難治性疼痛患者に対する教育と運動療法

第10回日本運動器疼痛学会. 福島. 2017. 口述. CRPSのパルス高周波療法後に残存した難治性筋痛に対して教育を組み合わせた運動療法が著効した一症例

第23回日本緩和医療学会学術大会. 神戸. 2018. ポスター. コメディカルスタッフの終末期ケアの経験と、自分の望む終末期ケアに関する調査

第31回回復期リハビリテーション病棟協会研究大会. 岩手. 2018. 口述. 当院の入院時訪問指導が及ぼす影響

第18回日本クリニカルパス学会. 札幌. 2018. 口述. リハビリテーションプログラム(THAパス)の改定と評価

第5回日本転倒予防学会学術集会. 浜松. 2018. ポスター. 在宅酸素療法・非在宅酸素療法患者におけるサルコペニア調査

第6回日本サルコペニア・フレイル学会大会. 新潟. 2019. ポスター. 慢性呼吸器疾患患者におけるサルコペニア改善に向けての取り組み

第41回日本疼痛学会学術集会. 名古屋. 2019. ポスター. 在宅酸素療法患者における慢性疼痛に関する予備的調査

第24回日本ペインリハビリテーション学会学術大会. 名古屋. 2019. 口述. 在宅酸素療法患者の慢性疼痛と身体活動の関係性

第12回日本運動器疼痛学会. 東京. 2019. 口述. 慢性運動器疼痛が在宅酸素療法患者の身体活動性に与える影響について

第53回日本作業療法学会. 福岡. 2109. 口述. 脳血管障害による複視に対する眼球運動促進とその経過

第23回岐阜県作業療法学会. 高山. 2019. 口述. 長期入院中の若年患者に対して作業活動を導入したことによる心理的变化

第46回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会. 富山. 2019. 口述. 人工関節置換術における深部動脈血栓症発生病因因子の検討と退院時への影響についての検討

第46回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会. 富山. 2019. 口述. 人工股関節置換術患者へのリハビリプログラムの検証

第46回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会. 富山. 2019. 口述. 第4頸椎圧迫骨折により第4から第7頸椎が前方に押し出され咽頭腔が変形し嚥下障害が起きた例

第43回日本神経心理学会. 新潟. 2019. ポスター. 音韻失読の読み誤りを減らす試み. 拡大鏡を使用することで仮名非語と文の音読課題の成績が向上した音韻失読の1例

第36回岐阜県老人保健施設大会. 高山. 2022. 口述・web. 胃瘻造設後の症例が在宅復帰されるまで～家族との要求の違いが著しかった症例～

第23回日本言語聴覚学会. 新潟. 2023. シンポジスト. 言語聴覚士による高次脳機能障害へのアプローチ

第37回東海北陸理学療法学会学術大会. 静岡. 2021. 口述・Web. 疾病利得が外れたことにより著しい改善を認め、転換性障害が疑われた1症例